

第23期第9回常任理事会議事録

日時 昭和60年6月28日(金)9:50~12:30

時間 達志(気研), 近藤純正(東北大)

場所 気象庁観測部会議室

[教育と普及]

出席者 山元, 田宮, 花房, 河村, 能登, 竹内, 松本,
浅井, 土屋, 春日, 松野

(1) 東京での第19回夏季大学は「地球をめぐる風」をテーマに7月30日~8月2日気象庁講堂で開講する。

議事

(2) 関西での第7回夏季大学は「台風の話」をテーマに7月31日~8月2日大阪府立労働センターで開講する。

A. 報告事項

各委員会報告

[庶務] 資料にもとづき報告があった。そのうち

(1) 日本学術会議海洋科学研究連絡委員会委員としては浅井富雄会員を推薦する。

(2) 関西支部から申し入れのあった秋季大会と大阪管区気象講演会の共催については従来どおり了承する。

[会計]

(1) 資料にもとづき4月分, 5月分の収支状況について報告があった。なお, 文部省指定の様式に合わせ4月分から収入の部, 支出の部とも公益部門, 収益部門に分けて計上した。

(2) 研究成果刊行費は, 371万円の査定であった。

[学術用語集]

学術用語集—気象学編改訂版については, 6月5日農学編との調整を終え, 6月20日学術用語分科会運営委員会で原稿が承認された。今後, 日本語→英語についての再確認を行い, 今年度中に出版できるよう努力する。

[天気]

6月号の目次及び7, 8月号の予定内容

[気象研究ノート]

7月末までに3冊編集が終わる。引き続き本年度2冊程度出版を計画している。

[奨励金]

次の委員の交替が承認された。

新 天野 充(東管) ← 旧 定成 勇(東管)

[山本賞]

山本賞受賞者選定規定の改訂に伴い, 60年度の候補者推薦委員として次の会員に委嘱した。

委員長 松野太郎(気象集認担当理事)

委員 権間道夫(衛星センター), 藤谷徳之助(気研), 加藤政勝(長期予報), 饒村 曜(予報), 武田喬男(名大), 高島 勉(気研), 山下 晃(大阪教育大), 新田 勲(気研),

B. 審議事項

1. 寄付への対応

会計処理は会計が, 礼状は庶務がそれぞれ担当する。機関誌への掲載は庶務及び天気編集が担当する。今後, 収入科目, 大会時の寄付等の取扱いなどの問題の洗い直しを行う。

2. 会員減少対策

未納者に対しては再三請求を行っているが, 会費未納のため整理退会とせざるを得ない会員が, 前年度30名程あった。このような会員の取扱いについて, 実務処理を行うための内規をつくることにする。

3. 総会質疑事項の整理

(1) 気象研究ノートの発行回数の減少は, 編集上の問題はあがるが, 今のところ一般の出版物の影響はないと考えられる。

(2) 出版情報は広告との関連もあり, ①書評と同時に広告の掲載をしてもらい, ②小さい広告欄を利用してもらいことで当面对処する。

(3) 総会費用引当準備金の項目については会計担当理事と事務局で検討する。

(4) 会員増の方策については, ①気象庁OB組織への協力を依頼した。②退職会員についての特別会費制, 講読のみの会員制度等を今後検討する。

(5) 天気を面白くする件については人事消息, 気象庁の動向, 観測法の改正等を掲載することなどが考えられ, 天気編集委員会で検討を続ける。

4. 常任理事交代に伴う担当の変更

講演企画担当を次のとおり変更する。

(正) 浅井理事

(副) 松本理事; 能登理事

5. 弔事内規について

庶務担当理事から弔事に関する内規(案)が提出されたが, 以前あったと思われる内規についてあたり, 今

後更に検討することにする。

6. 名誉会員推薦について

理事長、理事長代理、庶務担当理事（正、副）、各賞推薦担当理事（正）で委員会を構成し、定期的に名誉会員推薦を行い、来年5月の理事会にはかり、総会に提案するようにする。

7. 大会会場で書籍等展示販売申し入れの対応

大会実行委員会の裁量にまかせる。

8. 会員の新規加入の承認について

個人会員平沢尚彦ほか31名の新規加入及び団体会員NHK報道局社会部気象災害班ほか1団体の新規加入が承認された。

日本気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
日本気象学会秋季大会	昭和60年10月29日～31日	日本気象学会	大阪科学技術センター
第11回リモートセンシングシンポジウム	昭和60年10月30日・31日	計測自動制御学会	国立教育会館
極東域モンスーンに関する国際研究集会	昭和60年11月5日～8日	組織委員会・日本気象学会	東京大学海洋研究所
第32回風に関するシンポジウム	昭和61年1月24日	日本気象学会他	気象庁
短期・中期数値予報の国際シンポジウム	昭和61年8月4日～8日	WMO（気象庁）・IUGG	東京、気象庁
第3回アジア流体力学会議	昭和61年9月1日～5日	アジア流体力学会議委員会	日本都市センター

求人・求職コーナー

教員の公募について

この度、当教室（東京都立大学理学部地理学教室 主任教授 貝塚爽平）では下記の要領で専任教員1名を公募いたします。

記

1. 分 野

気候学・気象学またはそれと関連する大気・水・植生を研究対象とする分野

2. 職 名 助教授

3. 職務の内容

当教室の教育（学部（昼間・夜間）および大学院修士・博士課程を含む）・研究に関する仕事の分担
次の学部の講義のいくつかを分担して担当する。

気候学・一般気象学・水文学・植生地理学・地球科学概説・自然地理学（教養）

また、野外調査・観測法も分担して担当する。

その他に大学院の気候学特論・ゼミナールも分担す

る。

（当教室の教育・研究体制についての資料を用意してあります。希望される方は申し出ください。）

4. 採用予定 1986年4月1日

5. 応募書類

イ) 履歴書（写真添付）

所属学会名およびその活動歴を記入のこと
連絡のとりやすい電話番号・住所を明記のこと

ロ) 業績一覧

ハ) 発表論文（未公表の博士論文を含む）の別刷またはコピー

6. 提出期限 1985年10月31日 必着

7. 書類送付先

〒158 東京都世田谷区深沢 2-1-1

東京都立大学理学部地理学教室人事委員会
封筒に「教員応募」と朱書きし、（簡易）書留便でお送り下さい。